

前橋運営評議会における事業評価調書の作成スケジュール

□ 時期／資料 名称	①平成●年度 アーツ前橋 事業企画一覧 表【予算細事業名】 事前記入（ねらい）	②平成●年度 アーツ前橋事業評価調書	③付帯資料
□ 書式・組合せ	A3横 細事業毎に作成	A4縦 事業毎に複数枚作成	1～2枚程度：必要に応じて
□ 作成資料の 概要と目的	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施前に、ねらいや目標を事前に設定しておく。 予算の細事業毎に各事業を併記する表であり、担当者は他の事業と比較検討し、1年間のバランスを見つめ作成する。 館の共通目標や細事業別の目標は館長を中心に方針付ける。 事業開始前までは、適時適切に修正できることとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の終了後に、結果の振り返りとして、自己評価をしつつ備忘録的に記入し、次回以降の引継ぎ資料とする。 管理職や評議会委員の評価を記入する。 年1度（概ね7月）、決算報告と共に評議会で縦覧し、年度分を固める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施前の進捗状況を説明する際の資料として、担当者が作成する。 プレスリリース資料をベースとして、1～2枚程度にまとめておく チラシがあれば添付する。
□ 作業スケジュール			
前年度中	<p>■ 1月～12月に実施予定の運営評議会に提出して、方針付けを行う</p> <p>■ 3月の評議会で重要な修正があれば議題とする。</p> <p>予算説明の付帯資料とする。</p>		
事業実施直 前の評議会	<p>■ 各回の「進捗状況」の説明時に、最終的なねらいと目標を説明して、意見を伺う。</p>		<p>■ 事業の実施概要を補足するために適宜作成する。</p>
事業実施後	<p>事業実施後は修正しない。</p>	<p>■ 各回の「報告事項」の説明時に、実施後の結果をまとめたものを作成し、振り返りについて委員の意見を伺う。</p> <p>（必要に応じてチラシを添付する）</p>	
翌年度の決 算報告時	<p>■ 6月～7月の運営評議会事実誤認のみを確認して修正する。</p>	<p>■ 6月～7月</p> <p>最終版を委員に事前送付して意見・修正点を把握する。</p> <p>一旦、記載内容を固める。</p>	

平成30年度 アーツ前橋事業評価調書(1)

基本事項	事業名	Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵							
	会期	平成30年3月17日(金)～平成30年5月29日(火)				開館日数	64 日間		
	会場(ギャラリー)	アーツ前橋 ギャラリー1				実施方式	01自主企画・単独方式		
	観覧料	一般	-			出品点数	28 点		
		割引	-						
	担当者	学芸:吉田 成志 事務:新保 正夫							
	目的・目標 (総括表)	古典技法による木彫の菊池敏正と旧来からある銅版画技法を軸に、ミクストメディアで制作する馬場恵による、それぞれの技巧の面白さと、親しみやすい展覧会をめざす。							
	キーワード	技巧の面白さ、古典技法、彫刻作品、植物の生態、植物標本							
	他団体との連携 (共催、協力等)	東京大学総合研究博物館、阿佐ヶ谷美術専門学校							
	参加作家	菊池敏正、馬場恵							

①インプット(投入)…用いた資源 ②プロセス(活動)…戦略や手段の計画 ③アウトプット(結果)…実施内容、実績
④アウトカム(成果)…どういう反応が得られたか ⑤インパクト…波及効果

① 投 入 (支 出) ・ ③ 結 果 (収 入)	印刷物等	ポスター(A3)	チラシ(A4)	館内マップ	セルフガイド	リーフレット	小冊子
		部	30,000部	部	0部	0部	3,000部
	収入／支出	収入(A) 別表から転載		支出(B) 別表から転載		収支比率 (A)/(B)	観覧券売上収入 (Aの一部)
		予算	-	1,863,000 円	-	339 円	一般 割引 合計
		決算	-	1,537,780 円	-	325 円	旅費の減 居住地の近い作家を選出 (東京・大阪→東京・鴻巣) 横堀展との共同発注による減 会場、輸送
		差額	-	-325,220 円	-	-14 円	
		予算／決算	-	82.5%	-	96.0%	
	会期一日あたり(決算)	-	24,028 円	-	-	-	-

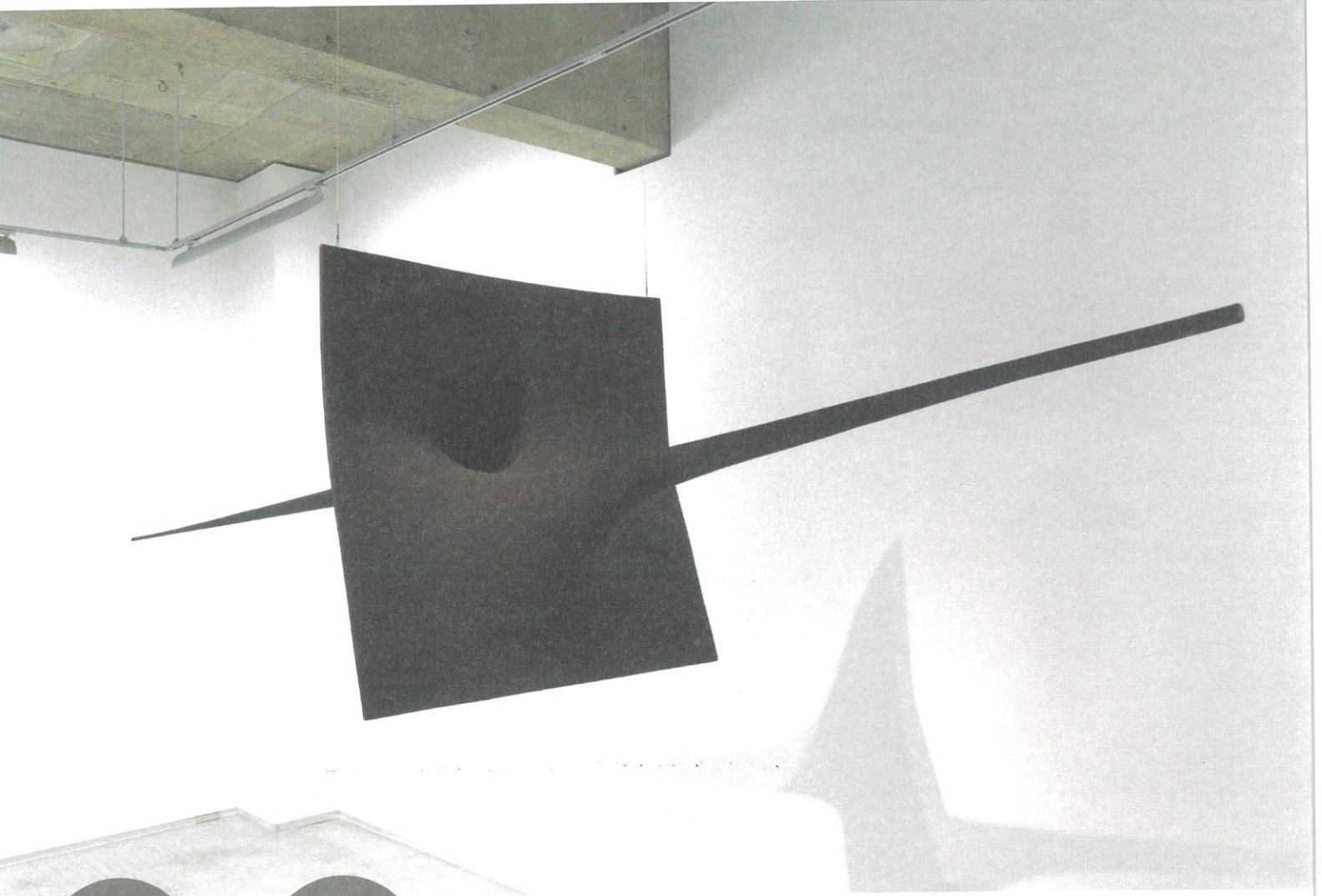
② 内 容 ・ 活 動	〔②内容〕 事業の概要	事業の概要 (転記)	数理模型をモチーフに、古典技法を用いて彫刻作品をつくる菊池敏正と、植物の生態をモチーフに、植物標本の作品を版画で制作する馬場恵を紹介する。					
	〔②活動〕 主な取組(手段)の 結果	・広報戦略 ・新たな試み (転記)	1.親子向けのワークショップを計画する。					
	・メディア等広報実績 ・新たな試み 図録 関連イベント 助成 など	広報実績 [新規掲載や効果 が大きかった媒体 など、特別な案件]	インターネット関係に掲載実績があつた。 美術手帳Web:株式会社 東京アートビート:their respective owner(s) ぐんラボ:朝日印刷工業(株) 中之条ビエンナーレ:中之条ビエンナーレ実行委員会 インターネットミュージアム:インターネットミュージアム ネットTAM:トヨタ/企業メセナ協議会					
	●指標 来館者反応 手ごたえ アンケート	新たな試 みの実績	日本彫刻の古典技法を体験するワークショップ 4月29日(日) 参加者11名(定員15名) 大人が多かった。 架空の花をつくるワークショップ 5月6日(日) 参加者28名(定員15名) 親子連れが多く、試みに合致した。					

③ 結 果	入場者数(参考値) 上段:人数(人) 下段:割合(%) ※色付きは有料観覧者	一般	学生	65才以 上	団体	高校生 以下	招待券	割引等	視察	イベント	他	合計 (人)	日平均 (人)
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4,731	74
	有料観覧者率 0.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
一般指標	指標			目標値		達成値		達成率		特記事項			
	入場・参加者数	5,500 人			4,731 人		86.0 %		目標:5,500人(うち4/1以降 4,400人)				
	展覧会満足度	80 %			71.0 %		-9.0 pt		アンケートに、「満足」、「やや満足」と記入 があった割合(無回答を除く)				

平成30年度 アーツ前橋事業評価調書(2)

事業名		Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵			
③ 結果	進捗管理 [スケジュール観] <p>A.概ね円滑に進んだ B.遅延気味であった() 開館後まで積み残しとなった事項()</p>				
④ 成果	[④成果] 期待に対する結果 -観覧者層のターゲット -ねらい	観覧者層のターゲット (転記)	若者、美術になじみのない方		
		成果	「1F 馬場 博物園のようであり楽しかった」「Art meetsがとても良かった。これからも様々な作品も紹介してほしいです。」というコメントから、新たな観覧者層に美術の楽しみ方と、次回への期待を持たせることにつながった可能性がある。		
		ねらい1 (転記)	1. 現役作家による、自然観察・描写の多様な見方を紹介する。		
		成果	「植物が疑問するのが興味深かったです。」というコメントがあり、プロの作家による描写の妙が伝わったケースと考える。ワークショップの参加者多く、身近な対象物の意外な見え方は、興味を引くものと理解した。		
		ねらい2 (転記)	2.二人の作品を通して、木彫の古典技法や、江戸期から始まった植物画の面白さを紹介。		
		成果	「菊池さんのシャープさ馬場さんの花のかんじがうまくコラボレーションなっていて美しい」→二人を一室に紹介する意味が垣間見えたと思う。「地下の展示とかけはなれている」→関連性を説明できれば面白いと感じた。		
⑤ 波及効果	<1~6は、記入項目の例・無い場合は削除。独自の評価項目の設定可。記入日を記載>				
	個別評価	1. 参加作家のその後の活動を評価⇒ 馬場恵さんは群馬フローラパークでの展示を予定。菊池さんは、ギャラリー碧(足利市)での展示がおこなわれた。 2. アーツの事業に対して、誰がどのような価値を見出したのかを評価 ⇒該当なし			
	※記入日を()内に入れてください				
	※概ね1年経過毎に再確認して修正				
	事業関係者(作家、運営、イベント参加者、地域住民)たちとの間で生まれた交流やその後の関係性の構築を評価⇒馬場さんが近くにお住まい(鴻巣市)なので、知人を連れてきていただいたり、こまめに顔を出していただいた。				
	事業の実施に伴う波及効果⇒該当なし				
	5. 地域資源の活用という点での効果⇒ 馬場さんは中之条ビエンナーレで制作した作品を展示し、地域芸術祭の成果を美術館の展示につなげることができた。 6. 意図せざる(思わぬ)効果⇒該当なし				
自己評価 (担当者)	効率性 ①:③ 事業が効率的だったといえるか	1.非常に良い ②良い 3.普通 4.劣る			
	合目的性 ②:④ 事業の目的を達成したといえるか	1.非常に良い 2.良い ③普通 4.劣る			
	事業の将来性 ②:⑤ 館の事業に対し将来性があるか	1.非常に良い 2.良い ③普通 4.劣る			
	社会的将来性 ③:⑤ 社会への影響に将来性があるか	1.非常に良い 2.良い ③普通 4.劣る			
	課題・改善点	チラシが両面版であり、2名を紹介していることから、イベントが時系列で通読できない、地図やアクセス情報が片面だけに載ってしまうという指摘を受けた。 作家の決定が早かったため、スケジューリングに余裕があった(事務)			
引継ぎ事項 (特記事項)		小冊子はAM04より完成が早く、3月末から配布ができた。完成時期を遵守したい。			
コメント・意見		館長 副館長 ギャラリー1の空間を効果的に使う展示になった。自然を鑑賞する眼が、どのように創作へつながるのか、鑑賞者の関心を横断と比較することができたのもよかったです。			
		運営 評議会			

最終更新日:H30.3.28 H30.7.21



Art Meets 05

菊池敏正 | KIKUCHI Toshimasa
(Geometrical Form-012) 2014年
檜、漆、顔料 347×80×80cm 作家蔵

「Art Meets」は、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れていただくことを目的に、中堅アーティストの活動を紹介する企画展として、年1回開催しています。第5回は自然を捉える表現をテーマに菊池敏正(1979年生まれ)と馬場恵(1969年生まれ)を紹介します。

菊池敏正 KIKUCHI Toshimasa | 1979年愛媛県生まれ、東京都在住。
2008年東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復彫刻専攻博士課程修了。
同校・保存修復彫刻専攻教育研究助手を経て、2009年より東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門特任助教。

菊池敏正 | 馬場恵
KIKUCHI Toshimasa BABA Megumi

March 17-May 29, 2018 Venue:Arts Maebashi Open hours:11:00-19:00 (entry up to 18:30) Closed on Wednesdays. Admission:Free Organizer: Arts Maebashi

2018年3月17日(土)から2018年5月29日(火)

開館時間：11時～19時（入場は18時30分まで）

休館日：水曜日（3月21日は開館、翌日休館）

会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

主 催：アーツ前橋

観覧料：無料

お問い合わせ：アーツ前橋

TEL:027-230-1144

<http://www.artsmaebashi.jp/>

▲ 「日本彫刻の古典技法を体験するワークショップ」

修復でも用いられる、新しい材料に古びた風合いをつくる古色彩色を体験しよう。彫刻の保存・修復で用いられる古色彩色の技術はアンティーク家具などにも用いられています。保存・修復の専門家でもある菊池による、古典彫刻や学術標本の修復に用いられる古色彩色を体験できます。

講師：菊池敏正

日時：4月29日(日) 14:00～16:00

会場：アーツ前橋スタジオ、定員：15名 ※事前に電話でお申し込み下さい。

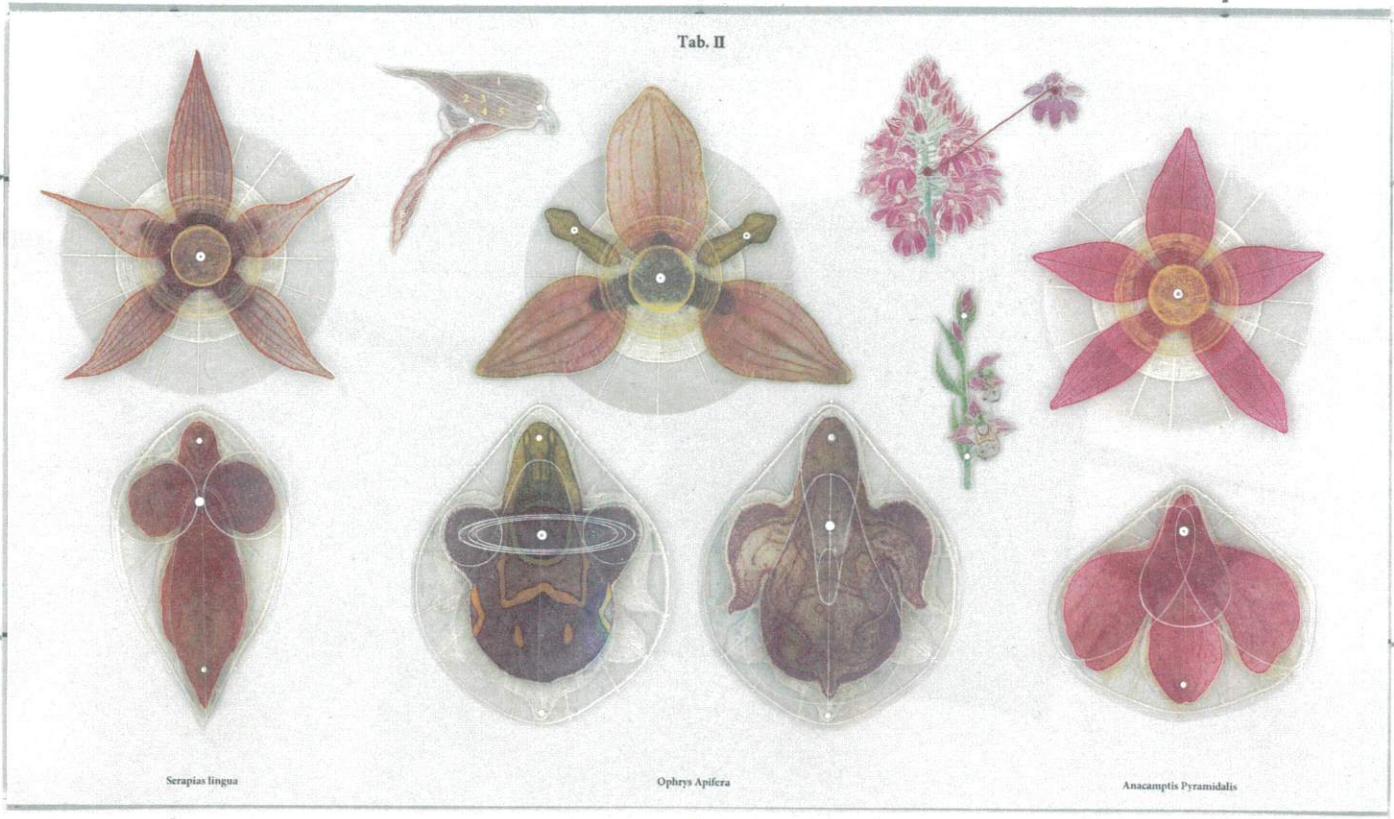
対象：小学校高学年以上

▲ 「こどもアート探検」

日時：5月12日(土) 15:30～ 対象：小学生以下 ※当日会場にお越し下さい。

内容：サポートーとお話ししながら作品を鑑賞します。





Serapias lingua

Ophrys Apifera

Anacamptis Pyramidalis

馬場恵 | BABA Megumi
(meta-species Orchidinae) 2011年 エッチング。
雁皮紙、PET板にコラージュ、アルミ合板 45×80×7cm 作家蔵

Art Meets 05

菊池は彫刻の保存修復を学ぶことを通して身に付けた古典技法を用いて、数理モデルや動物の骨などの学術標本をモチーフに再現し、その形からデジタル処理によって変化させた作品を制作します。馬場は受粉させるために擬態化する蘭など植物の機能美に魅了され、実在する植物の変異の延長線上に自らの想像力によって飛躍させた形を生み出します。彼らの卓越した描写力と実在する形を利用したユニークな想像力は、私たちの世界を構成する形の面白さに気づかせてくれるでしょう。

馬場恵 BABA Megumi | 1969年埼玉県生まれ、埼玉県在住。
1993年創美術学校版画科卒業。

2004年ノリッヂ美術大学にてレジデンスプログラム、
2000年よりア佐ヶ谷美術専門学校専任教員。

菊池敏正 | 馬場恵

KIKUCHI Toshimasa

BABA Megumi

March 17-May 29, 2018 Venue:Arts Maebashi Open hours:11:00-19:00 (entry up to 18:30) Closed on Wednesdays. Admission:Free Organizer: Arts Maebashi

AM 「架空の花をつくるワークショップ」

環境によって形を変える花の生態を知る架空の花をつくろう。花の機能美に魅せられ、その生態を参考にして架空の形態の花をつくる馬場の作品制作の背景を知りながら架空の花をつくります。

講師:馬場恵

日時:5月6日(日) 14:00~16:00

会場:アーツ前橋スタジオ、定員:15名 ※事前に電話でお申し込み下さい。

対象:どなたでも(未就学児は保護者同伴)

AM 学芸員による鑑賞ツアー

日時 4月1日(日)、4月28日(土) 14:00~14:30 5月13日(日) 13:30~14:00 ※当日会場にお越し下さい。

○同時に催

「横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで」

会期:2018年3月17日(土)~2018年5月29日(火)

開館時間:11時~19時(入場は18時30分まで)

会場:アーツ前橋

【公共交通機関】 JR前橋駅から徒歩約10分／上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分

【自動車】 関越自動車道 前橋ICから車で約15分

By Train : About 10 min. on foot from JR Maebashi station.

By Car : About 15 min. by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway.

アーツ前橋

ARTS MAEBASHI

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16 tel: 027-230-1144 fax: 027-232-2016
URL: <http://artsmaebashi.jp/> 5-1-16, Chiyodamachi Maebashi Gunma 371-0022
e-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp



*Pマークの駐車場のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。

平成30年度 アーツ前橋事業評価調書(1)

基本事項	事業名	横堀角次郎とその仲間たち					
	会期	平成30年3月17日(金)～平成30年5月29日(火)		開館日数	64 日間		
	会場(ギャラリー)	アーツ前橋 全ギャラリー		実施方式	02自主企画・名義共催方式		
	観覧料	一般	500 円	出品点数	180点		
		割引	300 円				
	担当者	学芸:辻 瑞生 事務:高山 あづさ					
	目的・目標 (総括表)	横堀角次郎の画業を振り返り、横堀の画家としての位置を探る。					
	キーワード	生誕120年、没後40年の本格的な回顧展、前橋ゆかり作家、近代洋画					
	他団体との連携 (共催、協力等)	自画像のヘッドマークを掲げ、赤城山側の車内ポスターを全て統一した特別電車を運行(上毛電気鉄道)					
		展示室内での弦楽アンサンブル演奏会の実施(前橋西口タリーカラブ)					
		高齢者を対象とした対話による鑑賞プログラムの実施(一般社団法人アーツアライブ)					
		地元ギャラリーが横堀角次郎展に関連して「鈴木強平と友人たち」を自主企画した(百日紅ギャラリー)					
関連イベント	参加作家	横堀角次郎	岸田劉生	木村莊八	全22作家		
		3/4,5 ワークショップ「風景を描く」講師:衣真一郎					
		3/21 アートリップインアーツ前橋					
		4/15 講演会「横堀角次郎の魅力」講師:染谷滋(ゲストキュレーター)					
		5/19 講演会「横堀と三岸と鳥海と」講師:原田光(美術史家)					
		5/20 すてきな子どもたちによる弦楽アンサンブル演奏会					
		3/31,4/16,27 学芸員によるギャラリーツアー					
		5/10~15 おしゃべりアートデイズ					
		①インプット(投入)…用いた資源 ②プロセス(活動)…戦略や手段の計画 ③アウトプット(結果)…実施内容、実績 ④アウトカム(成果)…どういう反応が得られたか ⑤インパクト…波及効果					

① 投 入 (支 出) · ③ 結 果 (收 入)	印刷物等	ポスター (B2)	チラシ(A4)	館内マップ	セルフガイド	リーフレット	図録
		1,500 部	45,000 部	0 部	0 部	0 部	1,200 部
収入／支出		収入(A) 別表から転載	支出(B) 別表から転載	収支比率 (A)/(B)	入館者一人 当たりコスト	観覧券売上収入 (Aの一部)	
		予算	622,000 円	12,995,610 円	4.8%	3,249 円	-
		決算	626,700 円	12,786,410 円	4.9%	3,602 円	333,000 円
		差額	4,700 円	-209,200 円	0.1%	353 円	-
		予算／決算	100.8%	98.4%	102.4%	110.9%	-
		会期一日あたり(決算)	9,792 円	199,788 円	-	-	5,203 円
② 内 容 ・ 活 動	〔②内容〕 事業の概要 〔②活動〕 主な取組(手段)の 結果 ・メディア等広報実績 ・新たな試み 図録 関連イベント 助成 など ●指標 来館者反応 王一キー	事業の概要 (転記)	大胡町出身の横堀角次郎の画業を振り返り、ともに歩んだ仲間たちの作品を加える				
		・広報戦略 ・新たな試み (転記)	1.ゲストキュレーターを立てて、より専門性の高い展覧会とする。 2.広報前橋で横堀作品を探していることを告知(7/15号)				
		広報実績 [新規掲載や 効果が大き かった媒体な ど、特別な案 件]	4/25 日曜美術館アートシーン 5/1,2,3,4,5 アートを愉しむ 作品紹介全5回 (上毛新聞パレット) 4/3,10,17 心で描く 横堀角次郎没後40年 連載全3回 (上毛新聞文化面) 4/28 毎日新聞夕刊 5/8 作品紹介 (読売新聞夕刊ギャラリーモール) 5/20野地耕一郎「見なおし日本近代絵画 こんな画家がいた 第41回横堀角次郎」 (一枚の絵)6月号)				
		新たな試 みの実績	1.ゲストキュレーターを立てた 2.地下の順路をギャラリー2⇒6⇒5⇒4⇒3とし、展示壁面を増やすためにギャラリー2 と6に仮設壁を立てた。 3.横堀角次郎作品と、仲間の作家でキャッシュを色分けして、作者が違うこと分かり やす伝えようとしたが、色の違いに気づかない人もいた。 4.横堀角次郎の出身地が旧大胡町であるため、大胡地区の方へのアピールとして、会 期中、沿線を走る上毛電気鉄道に横堀角次郎展号を走らせた。				

平成30年度 アーツ前橋事業評価調書(2)

事業名		横堀角次郎とその仲間たち																									
③ 結果	入場者数(参考数値) 上段:人数(人) 下段:割合(%) ※色付きは有料観覧者	一般	学生	65才以上	団体	高校生以下	招待券	割引等	視察	イベント	他	合計(人)	日平均(人)														
	948	36	818	83	139	913	126	190	0	297	3,550	55															
	有料観覧者率	56.6%	27%	1%	23%	2%	4%	26%	4%	5%	0%	8%															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> <th style="text-align: center;">達成値</th> <th style="text-align: center;">達成率</th> <th style="text-align: center;">特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">一般指標</td> <td style="text-align: center;">入場・参加者数</td> <td style="text-align: center;">4,000 人</td> <td style="text-align: center;">3,550 人</td> <td style="text-align: center;">88.8 % うち4/1以降 3,500人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">展覧会満足度</td> <td style="text-align: center;">80 %</td> <td style="text-align: center;">81.5 %</td> <td style="text-align: center;">1.5 pt アンケートに、「満足」、「やや満足」と記入があった割合(無回答を除く)</td> </tr> </tbody> </table>													指標	目標値	達成値	達成率	特記事項	一般指標	入場・参加者数	4,000 人	3,550 人	88.8 % うち4/1以降 3,500人		展覧会満足度	80 %	81.5 %
指標	目標値	達成値	達成率	特記事項																							
一般指標	入場・参加者数	4,000 人	3,550 人	88.8 % うち4/1以降 3,500人																							
	展覧会満足度	80 %	81.5 %	1.5 pt アンケートに、「満足」、「やや満足」と記入があった割合(無回答を除く)																							
進捗管理 [スケジュール観]		<p>A)概ね円滑に進んだ B.遅延気味であった() 開館後まで積み残しとなった事項()</p>																									
④ 成果	〔④成果〕 期待に対する結果 ・観覧者層のターゲット ・ねらい	観覧者層 のターゲット	県内、美術愛好者																								
		成果	アンケートによると市内52%、県内27%で、市内が半数を超えたのは初めて。年代では田中青坪展と同様に60代以上が圧倒的であったが、本展で60代より70代以上の割合が高かった。来館回数は昨年度の加藤アキラ展では6~10回の割合が多かったのに対して、本展では2~5回が多いため。																								
		ねらい1 (転記)	1.地域作家の紹介																								
		成果	前橋市では横堀角次郎作品を油彩画32点、日本画20点の合計52を収蔵し、大胡シャンテ内の中記念室で年に4回展示替えをしながら作品を紹介しているが、あまり知られていないかった。今回、草土社時代の初期作品を紹介したこと、地元では「赤城山の作家」として知られる横堀の長い画業とその変遷を知つもらう機会をつくれた。アンケートからは、「私の家の北で冬、同じ時間に描いていた姿が眼にやきついている」というコメントなどが寄せられたのは、地域ならではである。																								
		ねらい2 (転記)	2.所蔵品の文化的価値の提示、再評価																								
⑤ 波及効果	個別評価 ※記入日を()内に入れてください ※概ね1年経過毎に再確認して修正	成果	これまでの展覧会では横堀角次郎は、「岸田劉生の周辺の作家」という位置づけをされていたが、草土社から離れてからの、赤城山シリーズや三四郎池シリーズを紹介することで、伸びやかで大らかな作風を伝えることができた。 また全国の草土社周辺を収集している美術館から借用することで関係性を築くことができ、同時にアーツ前橋が横堀角次郎作品を収蔵していることを知つもらえる機会となつた。																								
		成果	岸田劉生など著名画家を紹介 草土社時代では岸田劉生や椿貞雄とともに並べて比較することで、それぞれの個性や影響関係を伝えることができた。春陽会以降では創作の影響関係というよりは、交友関係を紹介するような展示構成となつた。アンケートでは、他の作家の作品を見ることができたと好評価する部分と、他の作家の作品数が多すぎるとの指摘もあった。 三酉会と森村酉三の調査を進めるなかで、結成の経緯などで新発見があつた。																								
<1~6は、記入項目の例・無い場合は削除。独自の評価項目の設定可。記入日を記載>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加作家のその後の活動を評価⇒該当なし 2. アーツの事業に対して、誰がどのような価値を見出したのかを評価 ⇒該当なし 3. 事業関係者(作家、運営、イベント参加者、地域住民)たちとの間で生まれた交流やその後の関係性の構築を評価⇒ ハラサワコレクション、秋山コレクションをはじめ、県内、市内の所蔵者に作品借用や資料調査で協力いただき、良い関係性を築けた。市内のギャラリーでは、本展覧会に合わせて横堀角次郎の関連企画を実施した。 展覧会開催の直前に著作権継承者と連絡がとれ、横堀角次郎と一緒に過ごしていた時期の話を聞くことができた。 4. 事業の実施に伴う波及効果 ⇒展覧会終了後の掲載になったが、野地耕一郎の連載「見なおす日本近代絵画 こんな画家がいた」(「一枚の絵」)で横堀を4ページにわたり紹介された。 5. 地域資源の活用という点での効果 ⇒アーツ前橋や横堀角次郎記念室で所蔵している横堀角次郎作品48点を展示し、前橋市所蔵の美術作品を周知する効果があつた。また会期中、横堀角次郎記念室の入室者が普段よりも多かつたと聞いた。 6. 意図せざる(思わぬ)効果 ⇒遺族から作品2点の寄贈の申し出があつた 																									

平成30年度 アーツ前橋事業評価調書(3)

	事業名	横堀角次郎とその仲間たち			
自己評価 (担当者)	効率性 ①:③ 事業が効率的だったといえるか	①非常に良い	2.良い	3.普通	4.劣る
	合目的性 ②:④ 事業の目的を達成したといえるか	1.非常に良い	②良い	3.普通	4.劣る
	事業の将来性 ②:⑤ 館の事業に対し将来性があるか	①非常に良い	2.良い	3.普通	4.劣る
	社会的将来性 ③:⑤ 社会への影響に将来性があるか	1.非常に良い	②良い	3.普通	4.劣る
課題・改善点		収蔵作家の個展であったために早い段階から作品調査に取り掛かれたことや、県内2名のコレクターの協力より、展示の半年以上も前から調査のための借用することができ、作品選定も効率的に進められた。 図録制作では、持ち運び重視でコンパクトなB5版にしたため、作品画像や文字の級数が小さいことなど、読みにくいとの指摘もあったが、概ね好印象だった。 広報スケジュールは適切に進行し、早めにプレスリリースが送付できたことで、NHKアートシーンで取り上げられほか、上毛新聞では文化記者による連載3回、作品紹介5回、コラムなどで紹介していただいた。 作品点数が多いことなどから、説明的になりがちなキャプションやパネルなどは少なくて、年代順、テーマ順という単純な構成にしたが、代表作をゆっくり見せる工夫や、テーマごとに変化をつけるような見せ方の工夫ができたのではないかと反省している。			
引継ぎ事項 (特記事項)		平面作品だけで展示構成を考える上で、ギャラリー2や6に仮設壁を立てたのは空間としては有効であったが、それによって監視員の死角ができてしまったことや、順路が分かりにくいという指摘もあった。 過去に横堀展を担当した染谷氏にゲストキュレーターを依頼したことや、年表や参考文献などは基礎資料を基に準備、調査できたことがよかったです。			
コメント・意見		館長	コレクターや全国の美術館から作品を集め、ほぼはじめて活動の全容が分かる個展になったのは素晴らしい成果だった。元県立美術館の染谷滋氏から調査の引継ぎができたことも重要。新しい見方や資料の発見などにつながればさらによかったように思える。		
		副館長			
		運営 評議会			

最終更新日:H30.3.28 H30.7.18

2018年3月17日(土)ー5月29日(火)

※会期中、一部展示替えを行います

*主催・会場 アーツ前橋 Arts Maebashi

開館時間 11時から19時まで(入場は18時30分まで)

休館日 水曜日(3月21日は開館し、翌日休館)

観覧料 一般500円、学生・65歳以上・団体(10名以上)300円、高校生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料

※前橋中心商店街ツナガリズム祭り開催中の4/15(日)は観覧無料

※トワイライト割: 17時以降にご来場された方は観覧料300円

後援 上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、

東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、

NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえじじTVエフエム、前橋市立美術館

お問い合わせ アーツ前橋(群馬県前橋市千代田町5-1-16)TEL 027-230-1704 <http://arts-maebashi.jp>

YOKOBORI Kakujiro

and his associates

劉生の絵は血が通つて暖かかった
君の絵は血が通つて暖かかった

—— 中川一政

仲間たち

草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで

横堀角次郎

横堀角次郎「自画像」一九二六年 アーツ前橋蔵

赤城山麓に位置する群馬県勢多郡大胡町(現・前橋市)に生まれた横堀角次郎(1897-1978)は、渡米準備のため上京しました。転入した正則中学で椿貞雄と出会い、ともに岸田劉生を訪ねたことで、画家としての人生を歩みはじめます。劉生が率いた草土社へ参加し、関東大震災によって劉生が京都へ去ってから



横堀角次郎《赤城山》1960年 個人蔵

も、春陽会を作品発表の場として、亡くなる年の第55回まで欠かさず出品を続けました。

生前、東京に活動の拠点を置きながらも、横堀は地元との結びつきを大切にしました。群馬美術協会の結成に尽力す

る一方で、旧制前橋中学の友人である日本画家・磯部草丘、鋤金家・森村酉三と三酉会を結成してグループ展を開催しました。

横堀の芸術は、草土社時代の細密画を別にすれば、時代を先取りするような表現を目指したものでこそありませんでしたが、生涯健やかな自然描写に徹したといえます。何度も通って繰り返し描いた郷土赤城山や東大三四郎池の風景からは、その誠実な制作態度が感じられるでしょう。

地元で「角さん」と呼ばれて慕われ続けた横堀角次郎は、2017年に生誕120年を迎え、2018年は没後40年の節目の年となります。この機会に、その画業を振り返り、横堀とともに歩んだ仲間たちの作品を交えながら、横堀の画家としての位置を探ります。

関連イベント

*それぞれのイベント詳細につきましては、アーツ前橋の公式サイトをご確認ください
*参加費は無料ですが、ギャラリー入場には展覧会観覧券が必要です

ワークショップ「風景を描く」

講師 | 衣真一郎(画家)

日時 | 3月24日(土) 25日(日) 13時から16時

会場 | 24日 大胡総合運動公園周辺 / 25日 アーツ前橋

内容 | 横堀角次郎の描いた赤城山を画家と一緒にスケッチします

対象 | 小学5年生以上、両日参加できる方

定員 | 20名

申込方法 | 事前申込制／電話で申込みください

講演会「横堀角次郎の魅力」

講師 | 染谷滋(ゲストキュレーター)

1984年に群馬県立近代美術館で横堀角次郎の個展を企画

日時 | 4月15日(日) 14時から16時

会場 | アーツ前橋スタジオ

定員 | 40名

申込方法 | 事前申込制／電話で申込みください

講演会「横堀と三岸と鳥海と」

講師 | 原田光(美術史家)

日時 | 5月19日(土) 14時から16時

会場 | アーツ前橋スタジオ

定員 | 40名

申込方法 | 事前申込制／電話で申込みください

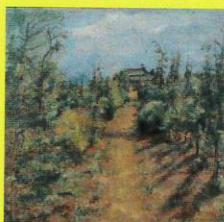
〈すてきな子どもたちによる弦楽アンサンブル演奏会〉

日時 | 5月20日(日) 14時から15時

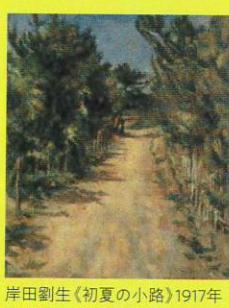
会場 | アーツ前橋ギャラリー

協力 | 前橋西ロータリークラブ

申込方法 | 不要、当日会場へお越しください



横堀角次郎《細き道》1917年
群馬県立近代美術館蔵



岸田劉生《初夏の小路》1917年
下関市立美術館蔵

作品鑑賞会

►アートリップ イン アーツ前橋

作品の前で椅子に座り、作品を見ながら、昔のことを思い出したり、描かれていないことを想像したり、アートの中に入って時空の旅をします

日時 | 3月21日(水・祝) 14時から15時

会場 | アーツ前橋 ギャラリー

講師 | 一般社団法人アーツアライブ

認定アートコンダクター

対象 | 75歳以上の方とその付添人

認知症の方もご参加できます

申込方法 | 事前申込制／電話で申込みください



横堀角次郎《切通し》1919年
ハラサワコレクション蔵

►学芸員による作品解説会

3月31日(土) 14時から15時

4月16日(月) 14時から15時

4月27日(金) 18時から19時、5月12日(土) 14時から15時

申込方法 | 不要、当日会場へお越しください

►おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターと一緒に、作品について気づいたこと、感じたことなどを自由に話しながら、自分以外の誰かと作品と一緒に見ることの楽しさを体験します

日時 | 5月10日(木)から5月15日(火) 14時から15時(土日のみ11時15分～12時15分の回を実施)

申込方法 | 事前申込制／電話で申込みください

お問い合わせ・お申込み

tel | 027-230-1144

同時開催

Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵

3月17日(土)～5月29日(火)

アーツ前橋 ギャラリー 1観覧無料

tel. 027-230-1144

近隣の展覧会案内

萩原朔太郎記念

水と緑と詩のまち前橋文学館

第25回萩原朔太郎賞受賞者展覧会 岡本啓

2月24日(土)～4月8日(日)

tel. 027-235-8011



■マークの駐車場のご利用に際しては、駐車券に4時間無料の割引処理いたします。

公共交通機関

JR前橋駅から徒歩約10分／上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分

自動車

関越自動車道 前橋ICから車で約15分

YOKOBORI Kakujiro and his associates

Saturday, 17 March 2018 – Tuesday, 29 May 2018

Arts Maebashi

Open hours : 11:00-19:00 (entry up to 30 minutes before closing)

Closed on Wednesdays

Admission: adult 500 (300) yen, university students and over 65 years old 300 yen.

Fares in brackets are rates for group of 10 or more.

Free entrance for high school students and Under.

Free entrance on 15 April for the TSUNAGARIZUM festival

Entrance between 5 pm and 6:30pm : 300yen

By Train : About 10 min. on foot from JR Maebashi station, About 5 min. on foot from Jomo rail way.

By Car: About 15 minutes by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway.



横堀角次郎《東大三四郎池》1967年
秋山コレクション蔵

アーツ前橋 ARTS MAEBASHI

T 371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

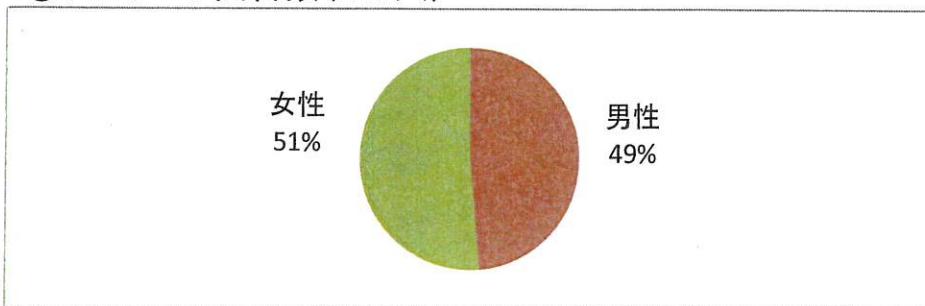
tel: 027-230-1144 fax: 027-232-2016

URL : <http://artsmaebashi.jp>

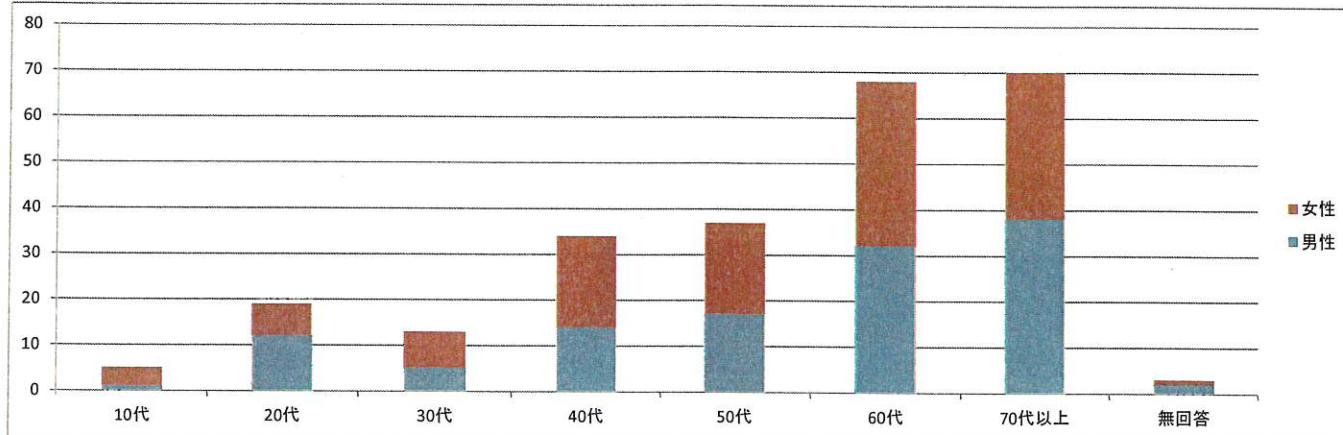
5-1-16, Chiyodamachi Maebashi Gunma 371-0022

e-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

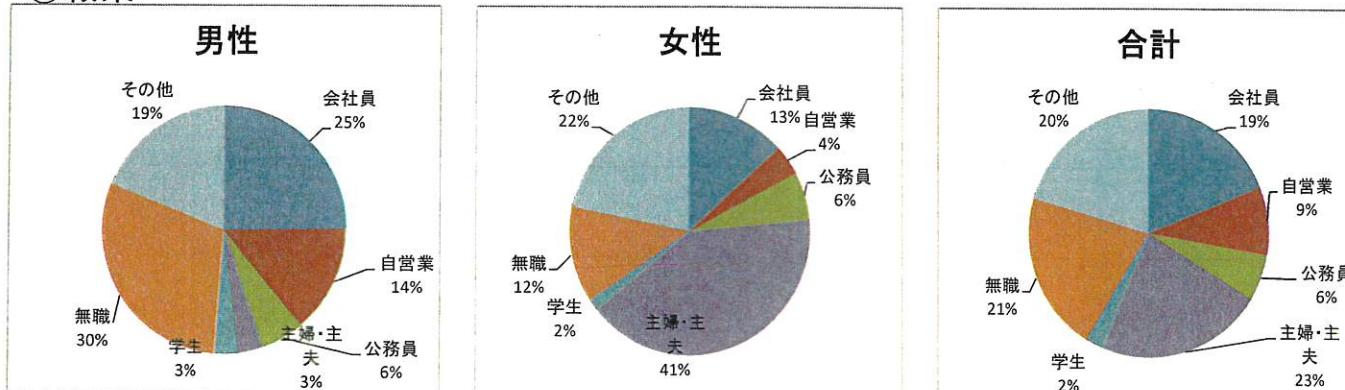
①アンケート回答数(249人)



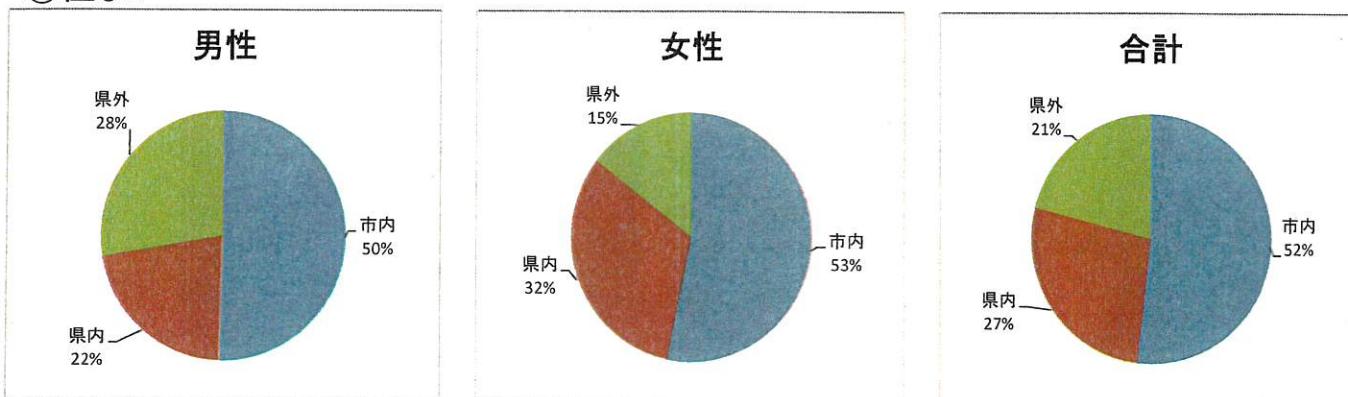
②年代



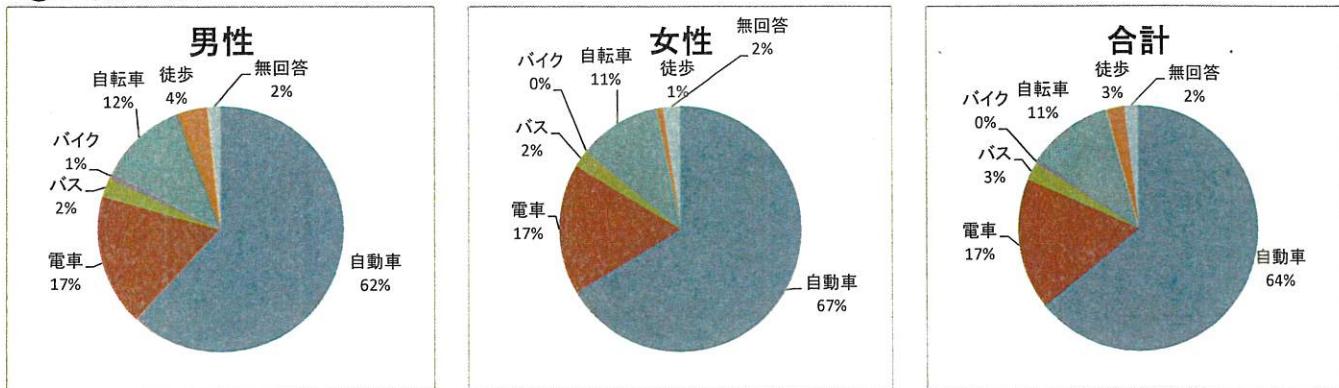
③職業



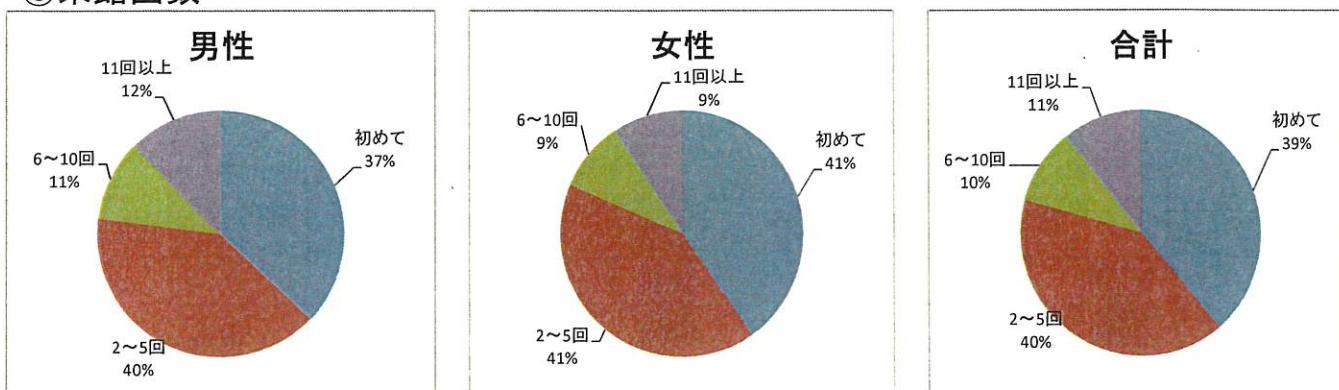
④住まい



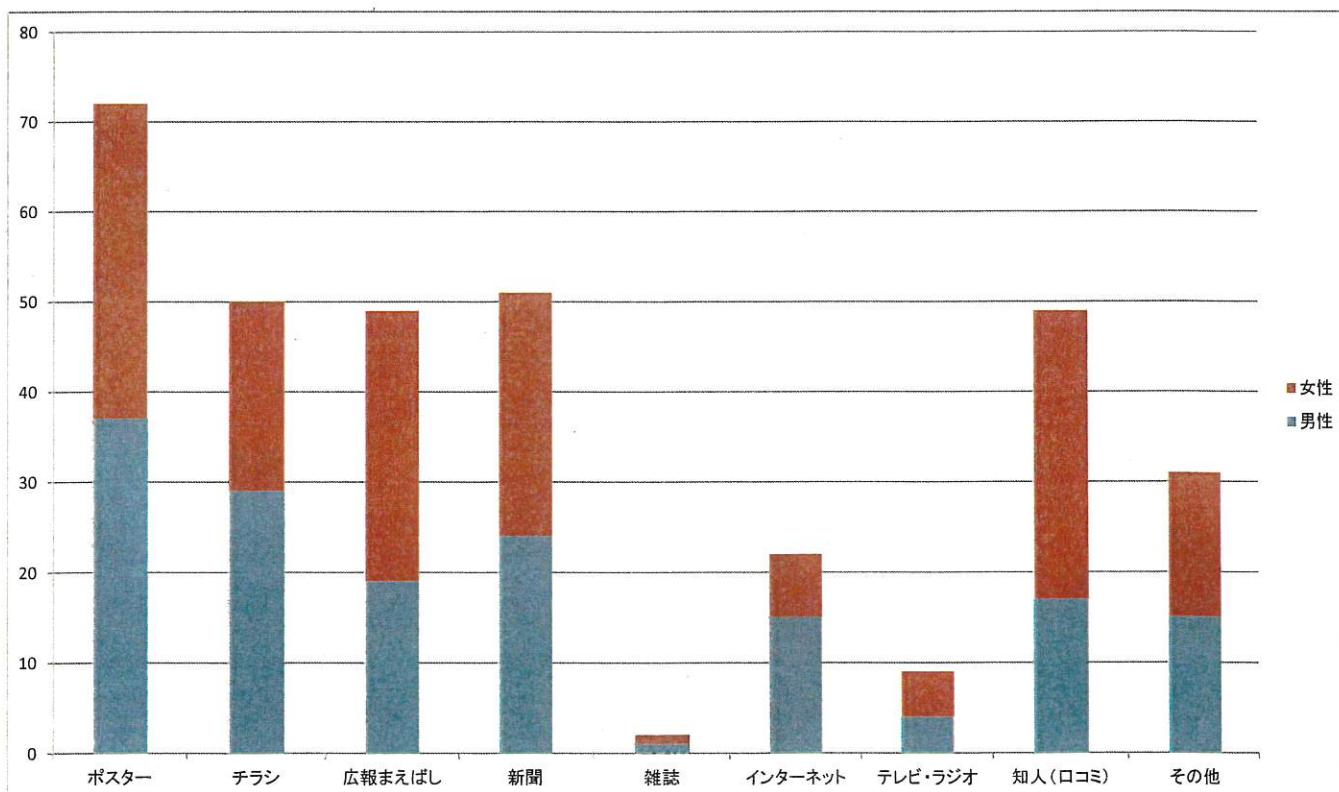
⑤交通手段



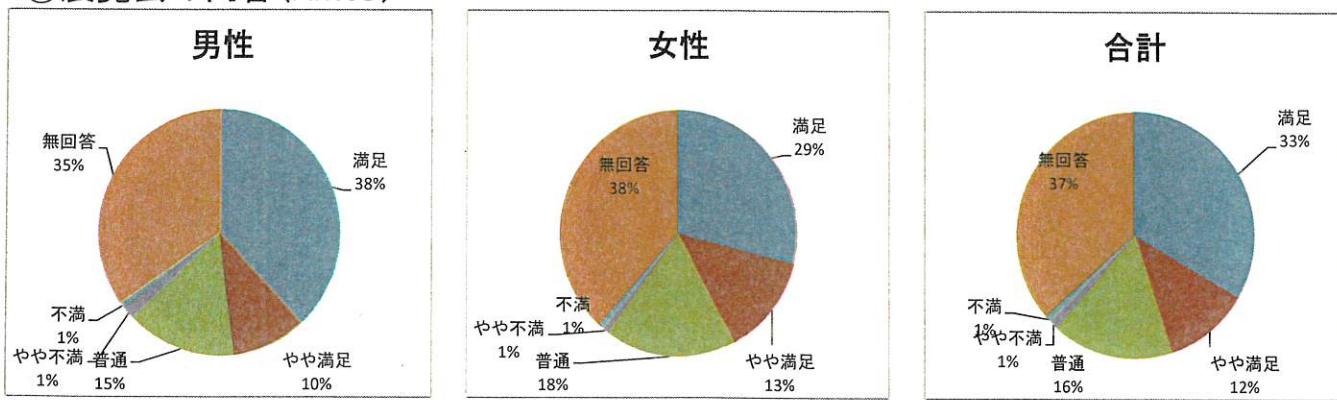
⑥来館回数



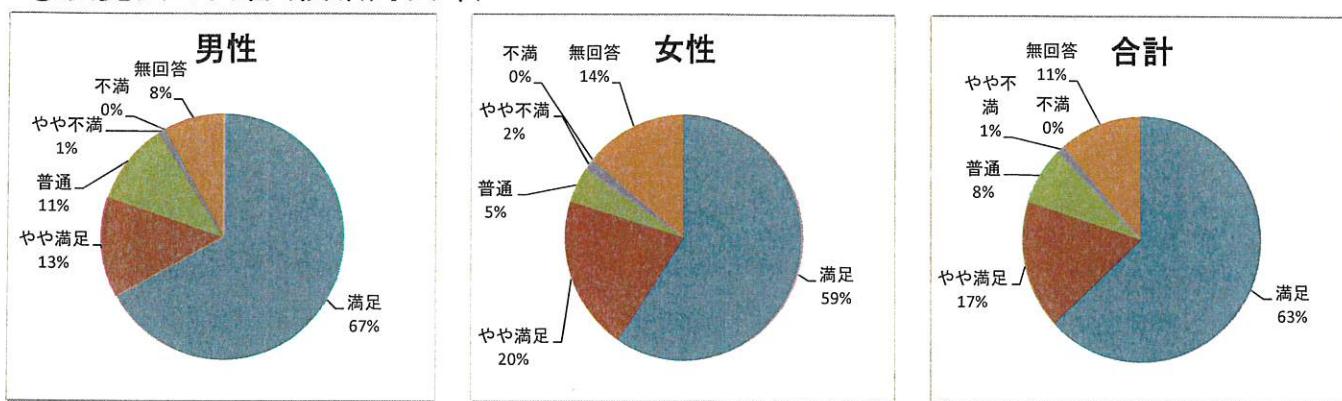
⑦企画展等を知った方法(※複数回答あり)



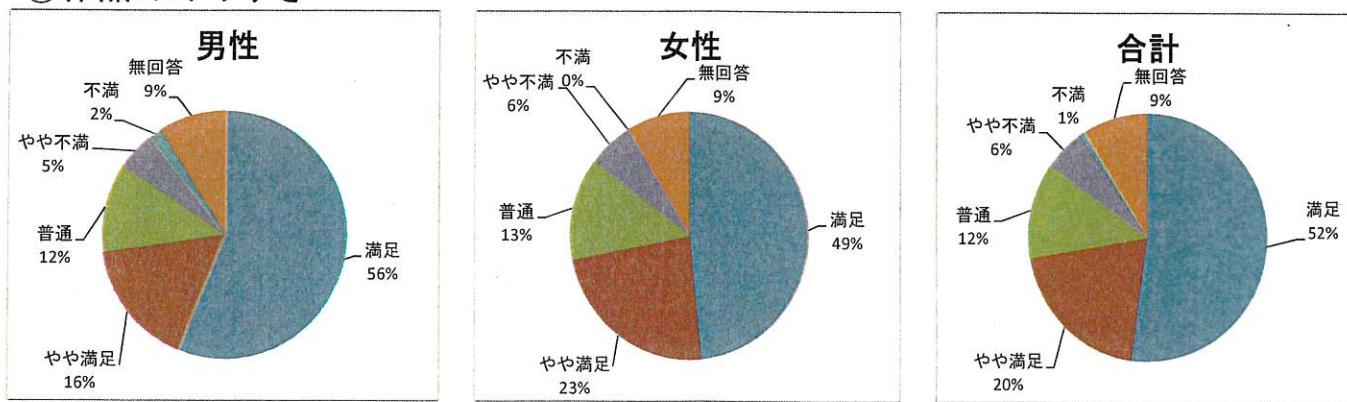
⑧展覧会の内容(AM05)



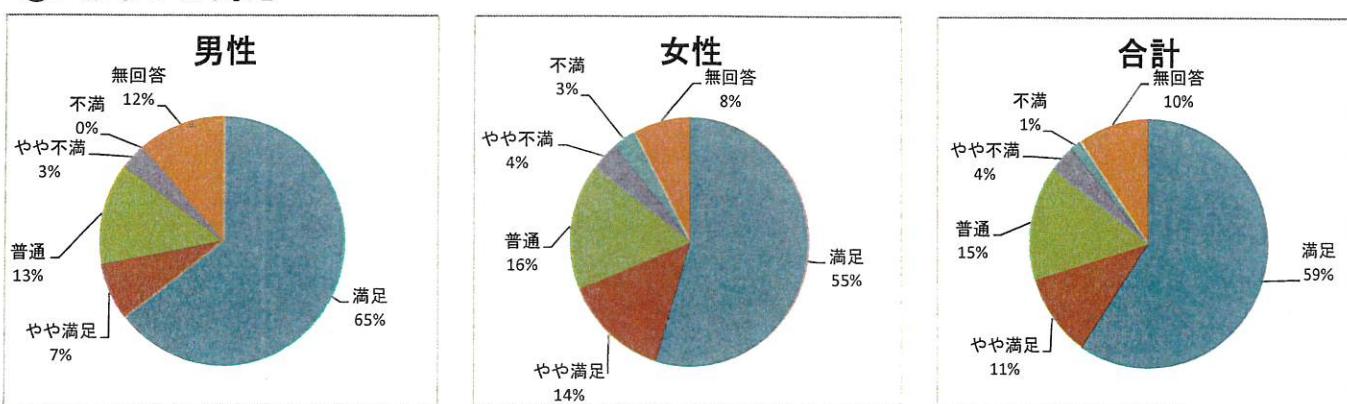
⑧展覧会の内容(横堀角次郎)



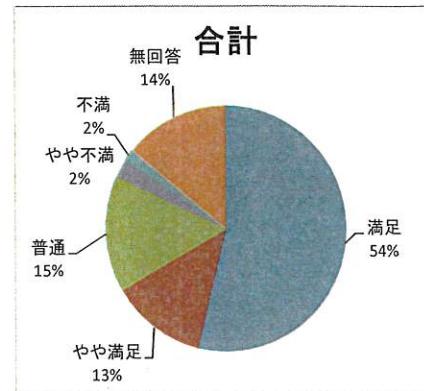
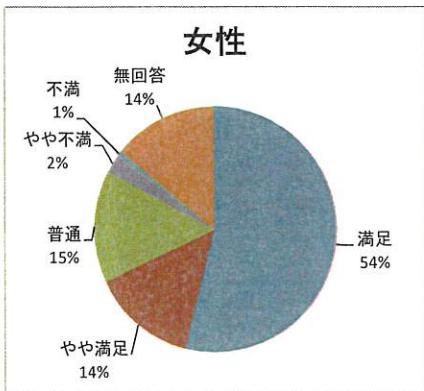
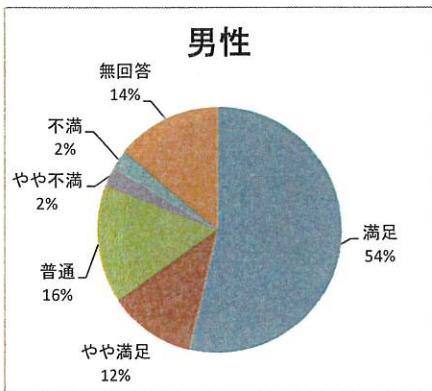
⑨作品のみやすさ



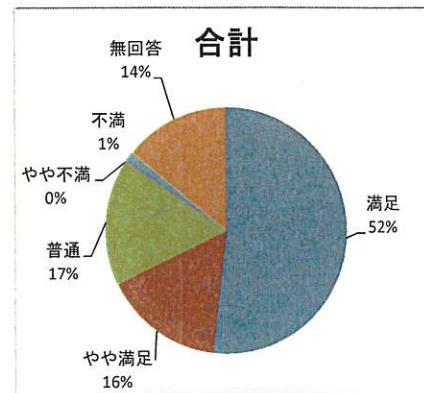
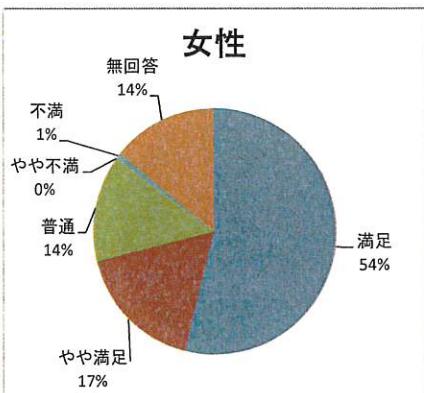
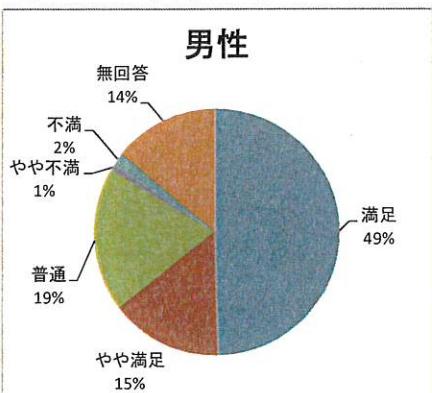
⑩スタッフの対応



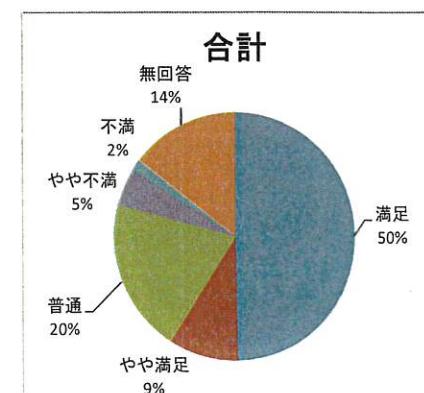
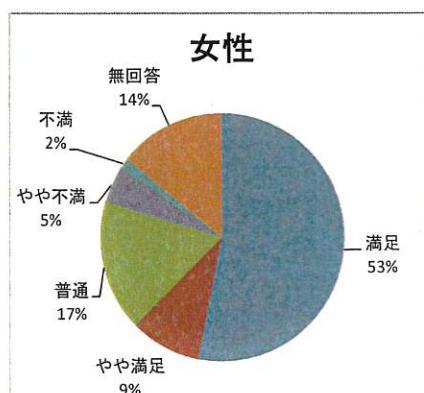
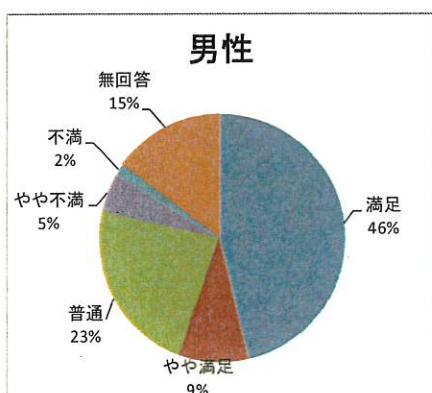
⑪施設の利用のしやすさ



⑫アーツ前橋全体の印象



⑬アーツ前橋までの道順のわかりやすさ



(Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵)

- 1Fの入ってすぐ左の作品の4枚の上部 緑の作品がもっと近くで見たかった とてもきれいだし上から下へではなく左～右で同じ高さの展示が見たかった残念！！(女性・50代)
- 地下の展示とかけはなれている(女性・70代)
- 植物が疑態するのが興味深かったです。(女性・40代)
- Art meetsがとても良かった。これからも様々な作品も紹介してほしいです。(女性・30代)
- 若手の作家を発見することができた。(男性・40代)
- 菊池さんのシャープさ馬場さんの花のかんじがうまくコラボレーションなっていて美しい。菊池さん、馬場さんの作品や展示の配置はとてもきれいだと思う。(女性・20代)
- 作品がすごく近くに感じられおもしろかったです。(女性・10代)

(横堀角次郎と仲間たち)

- 美術という言葉がどうにも前衛という言葉と結び付きがちなわたしだでしたが、世に人間は多いもので、あれだけ赤城山を繰り返し繰り返しひたむきに描いた画家も、当然ながら在ったのだ。と深く感動しました。このような企画を催して頂きありがとうございました。(男性・20代)
- 横堀角次郎の作品がこれだけ多く見られて満足。又、仲間たちの作品を並べたのもよかったです。(女性・70代)
- 最後の作品をみたあと、最初の作品をみたとき、あまりにもその画風の変化におどろきました。でも基本の素描はしっかりともった上での変化と、性格のにじみでた作品？に好意を持ちました。つかれました…。(女性・70代)
- 前橋(ぐんま)に、こんな作家がいたと知ることができた(女性・40代)
- 作品が順を追つていてみやすかったです。角次郎の画風の変化がみていてよくわかり 又来館します(時間切れでした)。(女性・70代)
- 色が美しかったです。故郷の美しさを再発見させてくれました。(女性・60代)
- たまたまアートシーンで開催を知りました。もっと広告宣伝して多くの方に観ていただきたい！(女性・60代)

- また群馬県内の作家の展示をして、群馬県にもこんな人たちがいる、ということをアピールする機会を続けて下さい。(男性・30代)
- 作者の名前のローマ字名が欲しかった。はじめての名前の人もあったのでどのように読むのか分からなかった。(女性・70代)
- すばらしかったです。あまり著名ではない画家かもしれませんが、これだけ立派な作品がそろっている企画展は他にはないのでは。宝物のような作品の発掘と展示をこれからもお願いします。(男性・50代)

